

自然とともに
生きている。

高知県の西南に位置した

山間の三原村。

東京から時間的距離が最も

遠いともいわれている。

確かに遠くて、不便だけれど

村の住民たちは、

人と人との繋がりを大切にし、

自然に逆らわず、

旬の食材を手間ひまかけて、

昔ながらの「食」の文化や

日常の営みなどを

守って暮らしている。

以前、どこにでもあった

日本の原風景がここにある。

元気いっぱい
三原村



一般社団法人 三原村集落活動センターやまびこ
活／動／報／告

三原村は高知県の西部に位置し、標高 120m の高原地帯の山村です。気候は温暖で、周囲を 450m～850m の山脈に囲まれ、隣接する四万十市、宿毛市、土佐清水市、大月町の中心にあります。人口は 1,498 人（令和 2 年 1 月 1 日）、面積は 85.37K m²、ほとんどは山林で、集落及び耕地は下ノ加江川とその支流に沿って散在しています。古くは三原郷と呼ばれ、明治 22 年の町村制施行により「三原村」となり、現在は 14 集落によって構成されています。

（一社）三原村集落活動センターやまびこ

村民が主体となって、それぞれの地域の課題やニーズに応じて、生活、福祉、産業といった様々な活動に総合的に取り組む仕組みです。

三原村では、高齢化の進行や人口の減少に伴う地域活動の担い手不足、買い物や移動手段といった生活面での不安、農林業を担う人材の不足など、さまざまな課題に直面しています。その一方で、村民は集落への「愛着」や「誇り」を感じながら「今後も村に住み続けたい」という強い想いを抱いています。その想いを実現するために、地域が抱える課題を解決する手段として、「集落活動センターを核とした三原村の仕組みづくり」に取り組んでいます。

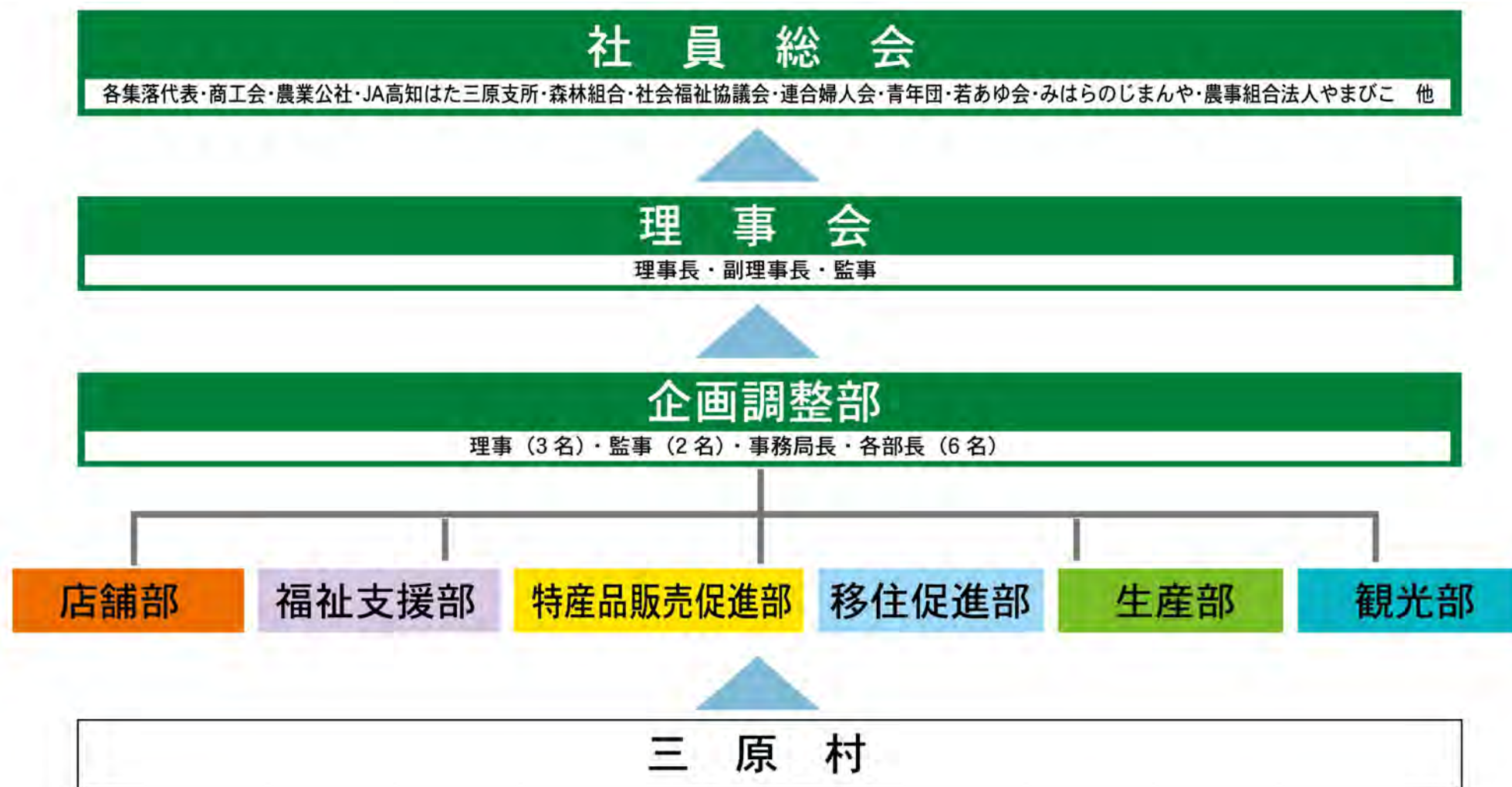


目的 1. 安心して生活できる村 2. 生産活動を継続し、農村維持ができる村

役割 1. 「三原村に住んで良かったね」という目的を達成するための機能する仕組みづくり

「安心して生活できる村」という目的に向かい、官民それぞれの立場の垣根を超えた発想で取り組むシステムづくり。

■組織の概要 一般社団法人 三原村集落活動センターやまびこ



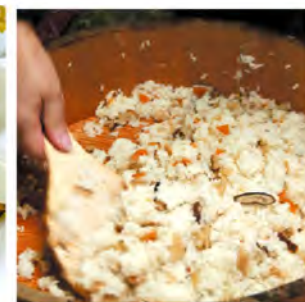
店舗部

やまびこカフェ

平成 28 年 4 月 9 日オープン



田舎料理レストラン



三原村の味



やまびこ



毎週土曜日は 『ピッツアの日』

生地は米粉、具材は村内の
季節の野菜を使用

村のべっぴんさんが、
四季折々の地元の食材を使った
日替わり定食メニューや
バイキングでおもてなし！



おかみさんグループが交代で毎日営業！(月～土) 来店客数(平成30年度)約12,500人



村外からも多数ご来店
いただいています！



みはらのじまんや

平成 22 年に村内で唯一の食料品店が廃業。翌年、買い物弱者対策として「三原村拠点ビジネス推進協議会」が主体となって店舗「みはらのじまんや」を開店。日用品、生鮮食品、野菜、お惣菜などの販売所として機能している。今では、なくてはならない買い物拠点となっている。平成 28 年 4 月、「やまびこカフェ」のオープンで、相乗効果となり来店客並びに売り上げ増となっている。

福祉支援部

- 文化財の伝承事業
- 男女ふれ合いイベント
- 地域のイベント支援
- 防災教室
- 清掃活動
- 楽しみのふれ合い活動
(卓球大会・カラオケ大会 他)



総社祭 (65年ぶりの復活)



清掃活動



防災教室



卓球大会



「スポーツ婚活」

- ほたるまつり
- あじさい祭り
- ヒメノボタン祭り その他

三原村 竜ノ川 第6回 ほたるまつり

2018年 6/2(土) 午後4時～

場所 / 氷室神社の下(竜ノ川)

【飲食コーナー用意しています！】
竜ノ川の皆さんのおもてなし
ふるりの味販売コーナー
〔なくなり次第終了させて頂きます〕

竹灯籠キャンドルナイト

〔ほたる鑑賞増設期間〕 20:00～21:00
※鑑賞料は別途要です。詳しくはチラシをご覧ください。

主催/竜ノ川ほたるまつり実行委員会
協賛 (一社) 三原村生涯学習センターやまびこ 後援 三原村社会福祉協議会

第9回 上長谷 あじさい祭り

2017年 6月18日(日)
場所: 三原村上長谷奈路
〔雨天決行〕

午前10時～午後2時

■あじさい街道散策
■巻寿司、しば餅、五目寿司など..
ふるとの味販売コーナー

地域の元気をと喜ぶがら!!
地元と縁の深い人たちが、丹精こめて
育てたあじさい、さらにもぎたての巻寿司、し
ば餅の味をお楽しみください。

上長谷あじさい町会
代表 上長谷町長 式田勝典
●お問い合わせ先
町会: 0860-317-1111 FAX: 0860-317-1112
三原市役所生涯学習センター: 0860-317-7829

三原市役所生涯学習センター

スカッシュバレー スポコン 三原村大会

2019年 10月27日(日)
13:30～17:30

場所/三原村農業構造改善センター

女性参加者募集中
〔スカッシュバレー・米試験場大会〕

■参加対象: 20歳以上の社会女性に限定
■参加人数: 女性7名(先着順)
■参加費: 無料

■タイムスケジュール
12:00 受付(三原市役所生涯学習センター)
13:30 開会(三原市役所)
14:00 準備
14:30 スカッシュバレー
15:00 休憩
16:00 交流会(トランプフリーゲーム)
17:30 終了

三原市役所生涯学習センター

三原村「出会いツアー」 堂コン

2018年 6月2日(土) 女性参加者募集中

〔受付/13:00～ 高谷場所/三原村農業構造改善センター〕

■参加対象: 20歳以上の社会女性に限定
■参加人数: 女性10名(先着順)
■参加費: 300円(当日受付にて現金で徴収)

■タイムスケジュール
13:00 集合(三原市役所生涯学習センター)
13:30 開会(高谷場所)
14:00 三原市役所生涯学習センター
14:30 交流会(トランプフリーゲーム)
15:00 交流会(トランプフリーゲーム)
15:30 高谷場所(高谷場所)

三原市役所生涯学習センター

独身男女の「ときめきパーティー」

■コインランドリー運営



高齢者に対する生活サポート支援の一貫としてコインランドリーを運営

(※先々、宅配サービスも視野に入れる)

特産品販売促進部 村内の活動グループと連携

- 村の特産品販売 [どぶろく、土佐硯、トマト、ユズ製品 生きくらげ など]
- 昔ながらの「食」の文化を引き継いだ商品の掘り起こし
(一例：みはら米・山菜・きのこ類 その他)
- 手作りこんにやく商品化



芋の栽培から3年。手間ひまかけて作る伝統製法のさしみこんにやく



ヘルシーで安心安全の本物の味



ゆず製品



ブランド米「水源のしずく」

イベント販売



高知市「ひろめ市場」



大阪「新梅田食道街」

村内のイベントに出店 お巻き・五目寿司・赤飯・しば餅・手作りこんにゃく・お漬物など田舎料理を販売！



移住促進部

■2014年度に村内の空き家調査

(空き家/80棟 賃貸可能家屋/17棟)

村や農業公社と連携し移住促進を図る。(令和2年1月現在:61名)

住宅は、村実施事業(空き家再生事業、移住者住宅改修補助事業)にて整備

移住者交流会

《ユズ収穫体験、しめ縄作り体験、カマドご飯、お餅つき体験など》

移住者には村の風習や文化について学んでいただき、また村の住民たちには、村外からの新しい風が活性化となる。



三原村で暮らそう！



「土佐硯」後継者育成研修生



農業



林業



移住者住宅改修補助事業

定住促進のための短期長期宿泊施設

三原村移住促進共同住宅 《指定管理》



生産部

運営：農事組合法人 三原やまびこ

2017年11月設立



シシトウハウス栽培で集落生産活動の充実 ■収穫期間/4月～12月

高知県で生産されるシシトウは、全国の約半分近くを占め、日本一の生産量です。収穫からパック詰めなど人手はかかるが安定した収入になる。高齢者や女性など、地域の住民が、それぞれの能力に応じた関わりを持って、ともに働けるシステムづくりです。

収入

- ・ 人手はかかるが安定した収入

雇用

- ・ 総合管理者（経営者）
- ・ リーダー（現場管理者）育成
- ・ パート（高齢者）



みはら村の『ししとう家族』

三原村農業公社との連携

- ・ ゆず生産の受託作業による通年化
→ 農業ロールモデル化

集落営農

- ・ 地域ぐるみで楽しみながら働ける
環境づくり

福祉

- ・ 高齢者のコミュニティ（元気に働こう！）

老人ホームより農作業（ハウス）で
元気な高齢者を増やそう！



【生産部】

三原米ブランド化研究会 2019年4月設立

三原村は標高120mの高原地帯で、豊かな水資源に恵まれた山村です。農民たちは先祖伝来の土地を守り続けながら、私たちの命の源となるお米を作っています。その豊かな水脈に守られた農地で「特別栽培」の定義に基づいたブランド米「水源のしずく」(品種:こしひかり)ができあがりました。

豊かな水脈に守られた農地で育まれた低農薬の特別栽培米です。

- 特別栽培米
- 循環型農業 (フォレストアッシュ使用)
- 清浄な水源＝良質のお米
- 寒暖の差



食味値80点以上で色艶も良く、もっちりとした粘りと程よい甘みが特徴です。



私たちが作っています！

炊くことで水分を多く含み、もったりとした粘りと程よい甘みが特徴です。冷めても味が落ちにくいことから、**おにぎり**や**お弁当**に適しています。

食味値 分布図

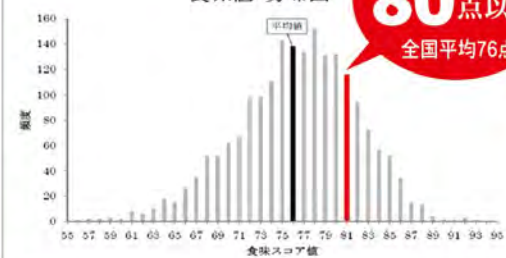


図1 食味値スコアの分布



観光部 《体感》自然とふれあう・観る・食べる・遊ぶ

(2018 年度より)



春 夏 秋 冬

四季折々の山野草がお楽しみいただけます。

ヒメノボタンの里



巨木めぐりツアー



皿鉢作り体験教室



村では当たり前でも、村外からすれば貴重で珍しいモノが沢山ある。

村の資源（文化、伝統芸能、植物、食など）を掘り起こし、交流人口の拡大を図る。
体験ツアープログラム作成（巨木めぐりツアー、皿鉢づくり教室、山菜採り、 など）

三原村を写そう

フォトコンテスト

【募集テーマ】三原村の暮らしや風景
●心写し暮らしの風景 ●緑の風景 ●自然の風景 ●田舎の風景 ●伝統文化など々々...

三原村は自然豊かな環境に恵まれ、緑豊かな山々に囲まれた美しい風景です。日本は環境の国といわれ、自然の恵みを受けながら暮らす人々の姿が、心に残る風景です。また、四季折々の「花」を眺めながら、日本人の暮らしや文化を感じてもらうためのフォトコンテストを開催しています。

このコンテストは三原村の自然風景や文化、人物など、1年を通しての写真を募集します。アマチュアならではのシャッターチャンスで撮った写真をお待ちしております。

【応募締め切り】2020年7月31日(金) 必着
(応募要領)についてはお問い合わせください。

主催 / (一社) 三原村観光活動センターやまびこ「三原村を写そう」フォトコンテスト
【企画・事務局】〒747-0001 高松市東三原 4-1-1 三原村観光活動センター 2F TEL: 0870-31-7878
HP: pchihara-gomashita.com

三原村フォトコンテスト

【指定管理業務】

- ・ 農業構造改善センター
- ・ 移住促進共同住宅

【委託業務】

- ・ 「ふるさと納税寄付金」返礼品発送等業務
- ・ 中山間地域等直接支払制度の事務業務



ありがとうございました

(一社) 三原村集落活動センターやまびこ



(2020 年 2 月作成)